

問題2 (150点)

日本はこれまで「勤勉な国」と見られてきました。しかしながら、近年ではその傾向に変化が見られるようです。この点について、各種データをもとに、以下二つの設問に答えなさい。

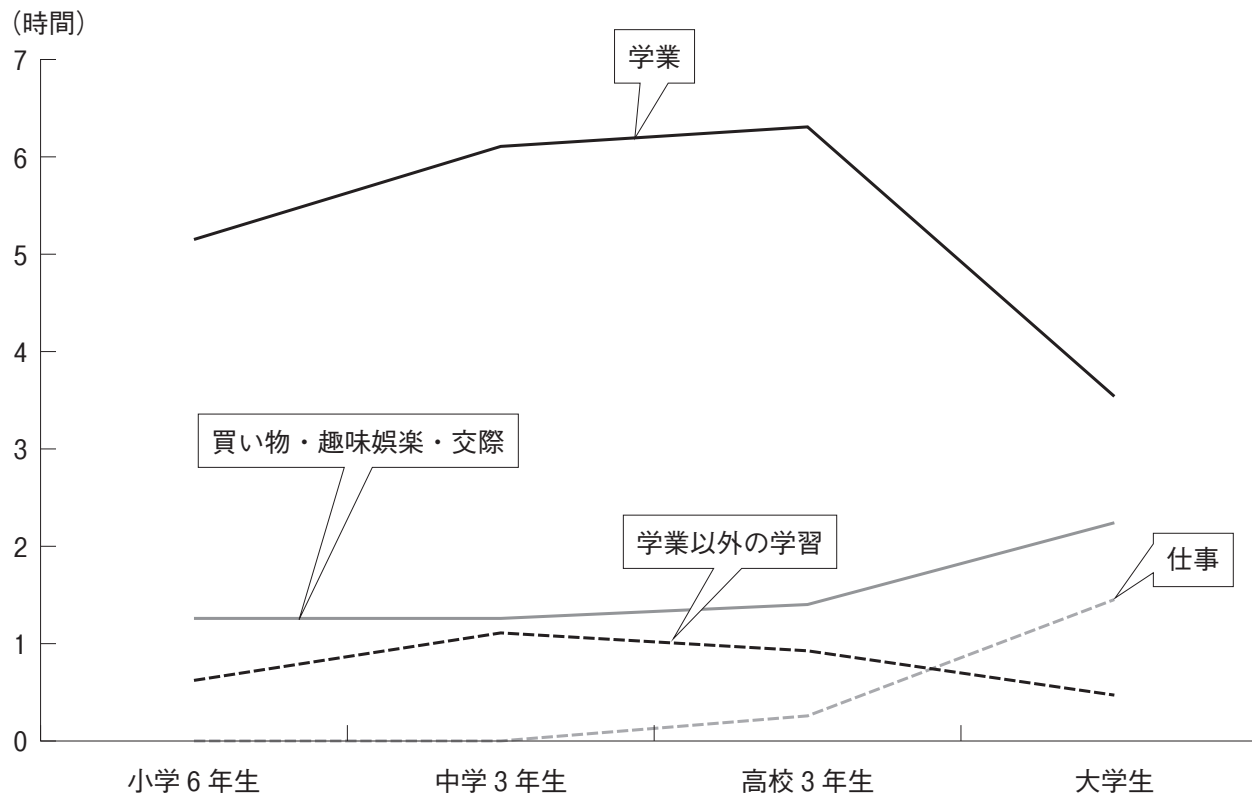
設問1

日本の現状について、図表1～5の各種データから読み取れる内容を300字以内で説明しなさい。

設問2

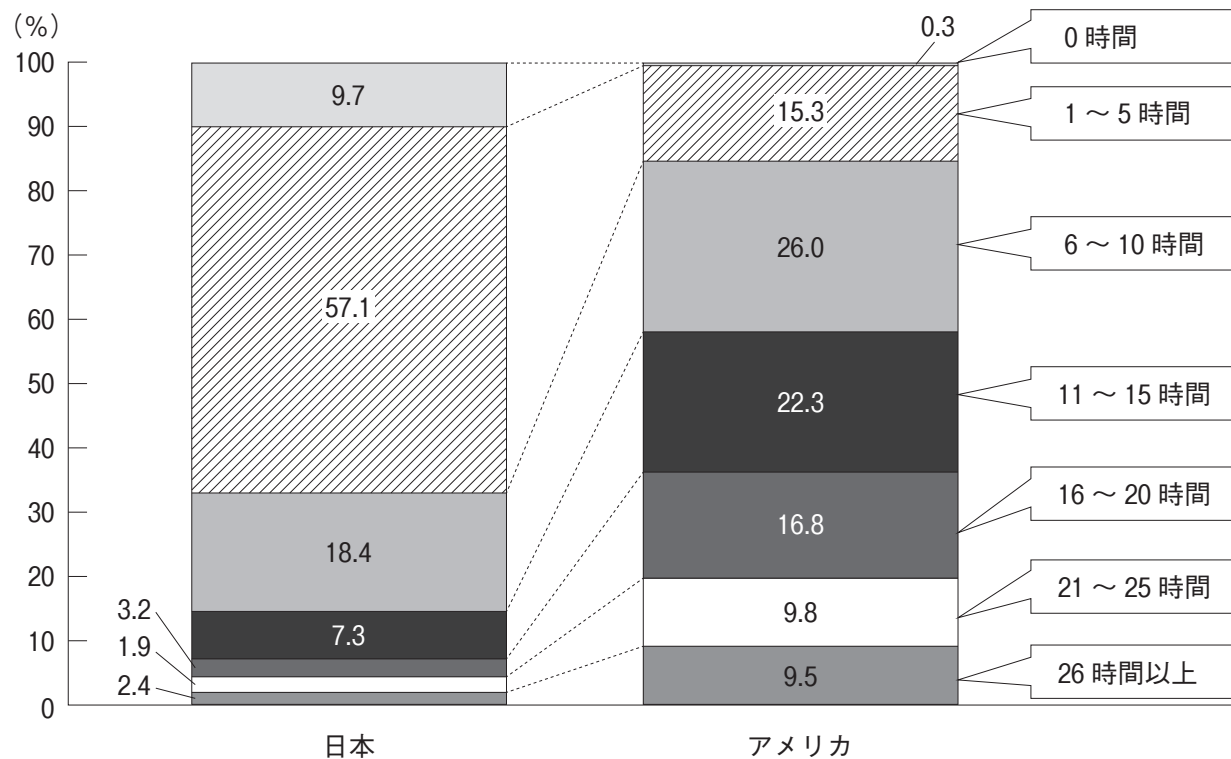
図表6は日本の学力について、諸外国と比べたものです。「勤勉な国・日本」として、今後どのような具体策を打てば良いでしょうか。他の図表も参考にしながら、あなたの考えを400字以内でまとめなさい。

図表1 学生の1日の生活時間（2011年）



(出典) 辻太一朗 (2013) 『なぜ日本の大学生は世界でいちばん勉強しないのか?』, P.28

図表2 大学生の授業に関連する学習の時間（1週間あたり）



(出典) 辻太一朗 (2013) 『なぜ日本の大学生は世界でいちばん勉強しないのか?』, P.30

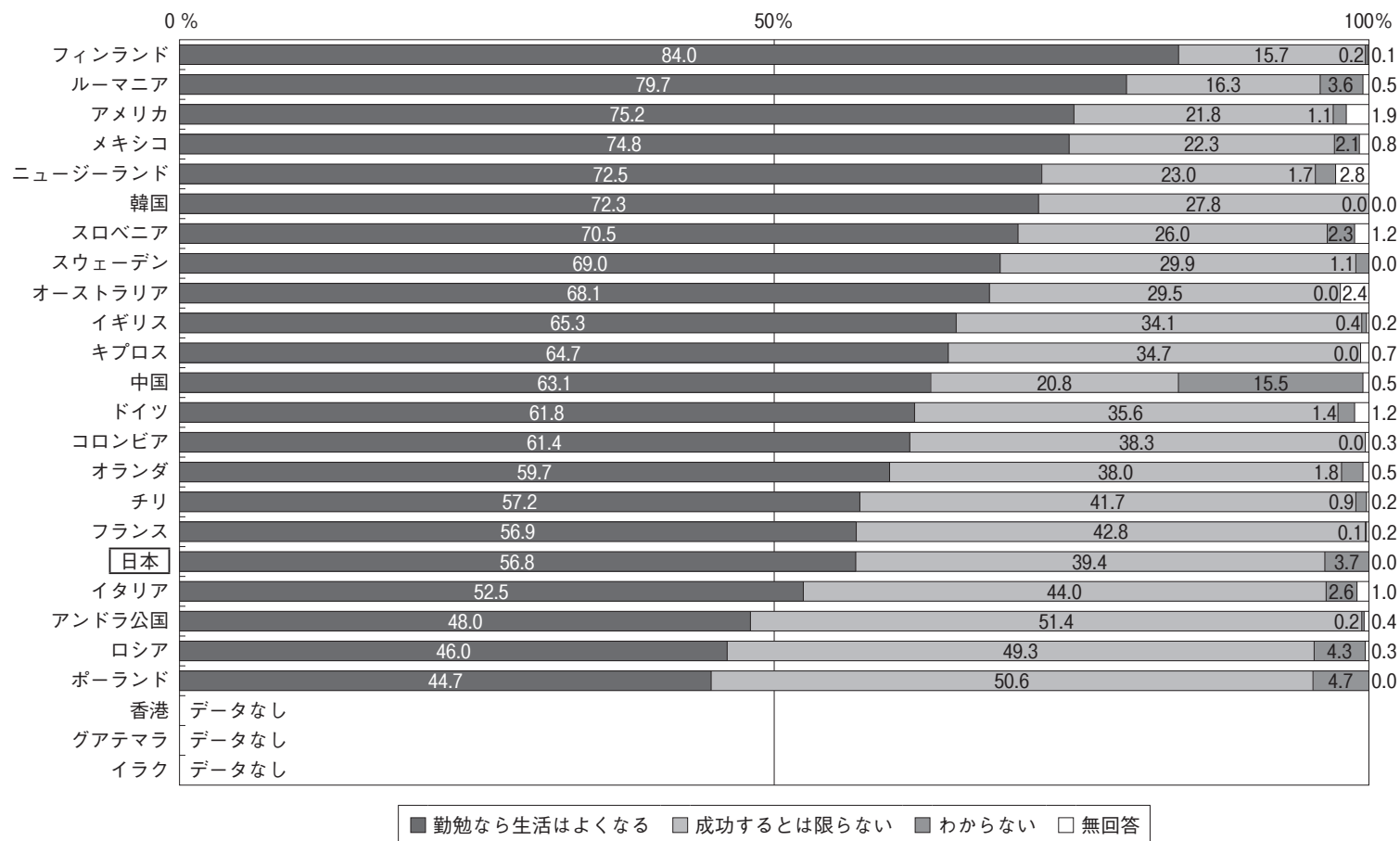
図表3 家庭で子に身につけさせる性質で大切だと思うもの（5つ選択）

(%)

国名	自主性	勤勉さ	責任感	想像力・ 創作力	寛容性	節約心	決断力・ 忍耐力	信仰心	公平さ	従順さ
日本	80.0	32.4	90.6	30.8	74.5	52.3	67.2	5.6	50.3	5.1
韓国	67.3	72.7	89.8	43.2	56.0	72.8	45.0	21.2	12.0	10.5
中国	68.7	81.7	64.2	20.9	61.3	62.4	25.0	2.1	31.8	14.7
香港	23.9	18.6	26.4	2.4	14.2	1.8	5.9	1.2	1.8	2.2
オーストラリア	63.5	47.9	72.0	44.3	91.5	33.5	50.8	20.8	53.6	36.7
ニュージーランド	53.2	41.1	63.0	35.1	82.5	33.3	48.7	14.6	38.5	24.4
アメリカ	53.1	61.6	72.0	31.0	79.0	30.3	39.0	50.6	40.0	28.7
メキシコ	40.8	24.3	77.8	24.6	78.1	39.4	36.3	38.8	47.6	58.3
チリ	41.1	25.8	84.6	26.7	79.1	37.5	46.1	37.6	32.6	51.8
コロンビア	33.5	19.0	82.9	17.8	84.1	48.2	20.1	47.7	53.4	59.2
グアテマラ	27.9	28.8	64.2	11.6	59.0	38.6	23.0	58.7	41.7	46.5
フランス	37.6	62.3	78.4	25.0	86.9	42.8	54.3	9.1	55.6	41.5
イギリス	58.4	44.3	60.1	38.0	85.4	25.0	38.4	17.7	54.7	46.1
ドイツ	75.6	27.5	84.4	38.5	73.2	51.1	62.5	9.4	6.9	16.5
イタリア	58.5	39.3	87.1	14.6	73.9	39.4	44.2	34.4	43.9	26.1
オランダ	64.5	29.4	89.8	26.5	85.9	41.7	37.2	10.1	23.5	41.3
スウェーデン	78.3	10.2	91.6	57.0	93.6	38.7	49.1	5.8	34.7	16.2
フィンランド	69.2	15.3	90.1	37.8	86.0	26.8	64.6	12.2	30.3	33.0
ポーランド	41.5	21.1	81.5	20.5	84.3	53.5	25.7	46.1	18.4	48.6
スロベニア	83.2	33.8	73.9	16.3	75.0	40.4	63.2	16.3	38.0	31.3
ルーマニア	29.1	83.3	68.8	18.1	58.6	53.0	30.3	62.8	23.2	17.5
キプロス	44.0	53.3	78.4	24.4	70.7	40.5	40.6	33.8	43.2	46.7
アンドラ公国	48.3	59.0	90.3	41.2	88.1	23.0	37.1	6.8	19.2	39.5
ロシア	42.6	88.0	81.0	14.6	67.6	52.1	53.1	10.5	19.8	36.6
イラク	28.9	63.4	82.9	9.1	85.2	31.6	20.8	89.9	9.4	73.3

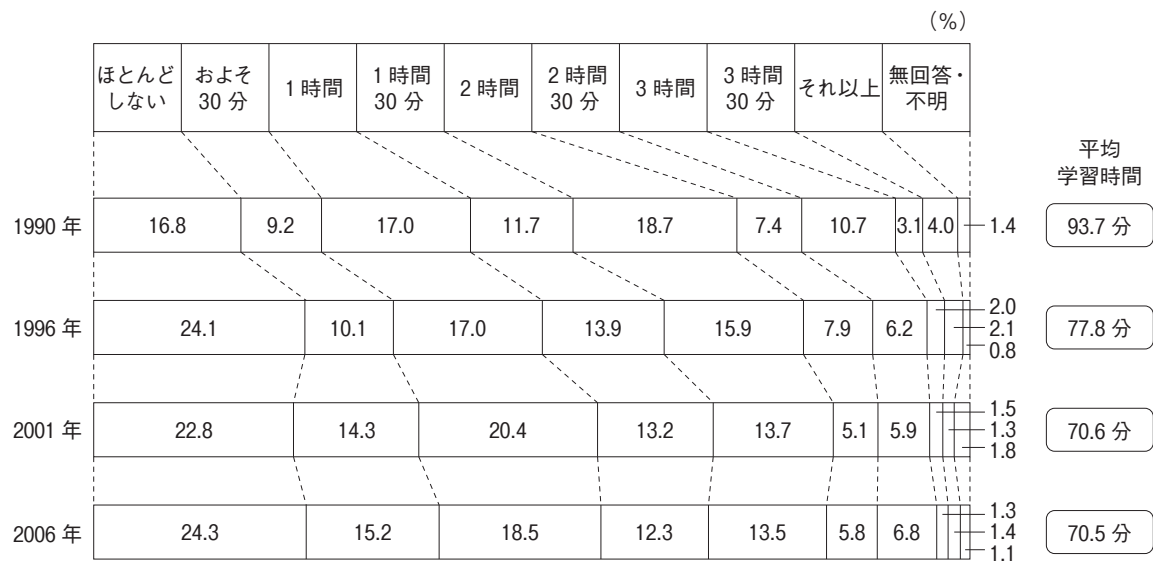
(出典) 電通総研日本リサーチセンター編 (2008) 『世界主要国価値観データブック』, P.45

図表4 勤勉なら生活はよくなる／成功するとは限らない



(出典) 電通総研日本リサーチセンター編 (2008) 『世界主要国価値観データブック』, P.24 より作成。

図表5 高校生の家庭での学習時間の推移



注1) 平均学習時間は、「ほとんどしない」を0分、「3時間30分」を210分、「それ以上」を240分のように置き換えて算出した。ただし無回答・不明は算出の際除いている。

注2) サンプル数は1990年2,005名、1996年2,615名、2001年3,808名、2006年4,464名。

(出典) Benesse 教育研究開発センター「第4回学習基本調査(高校生版)」

(http://benesse.jp/berd/center/open/report/gakukihon4/hon/pdf/kou/data_03.pdf)

図表6 15歳児の学力の国際比較（PISA調査）

学習到達度調査（PISA2009）トップ10

順位	読解力	得点と前回の順位	順位	数学的応用力	得点と前回の順位	順位	科学的応用力	得点と前回の順位
1	上海	(556 ー)	1	上海	(600 ー)	1	上海	(575 ー)
2	韓国	(539 ①)	2	シンガポール	(562 ー)	2	フィンランド	(554 ①)
3	フィンランド	(536 ②)	3	香港	(555 ③)	3	香港	(549 ②)
4	香港	(533 ③)	4	韓国	(546 ④)	4	シンガポール	(542 ー)
5	シンガポール	(526 ー)	5	台湾	(543 ①)	5	日本	(539 ⑥)
6	カナダ	(524 ④)	6	フィンランド	(541 ②)	6	韓国	(538 ⑩)
7	ニュージーランド	(521 ⑤)	7	リヒテンシュタイン	(536 ⑨)	7	ニュージーランド	(532 ⑦)
8	日本	(520 ⑮)	8	スイス	(534 ⑥)	8	カナダ	(529 ③)
9	オーストラリア	(515 ⑦)	9	日本	(529 ⑩)	9	エストニア	(528 ⑤)
10	オランダ	(508 ⑪)	10	カナダ	(527 ⑦)	10	オーストラリア	(527 ⑧)

(注) 65 カ国・地域が参加。OECD 平均点は読解力が 493 点、数学的応用力が 496 点、科学的応用力が 501 点。前回は 2006 年で 57 カ国・地域が参加。

日本の順位の変化

	2000 年 (32 カ国)	2003 年 (41 カ国・地域)	2006 年 (57 カ国・地域)
読解力	8	14	15
数学的応用力	1	6	10
科学的応用力	2	2	6

(出典) 文部科学省「OECD 生徒の学習到達度調査 2009 年調査国際結果の要約」より作成。